

公益財団法人 東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団
第40回（2020年度）研究奨励助成 募集要項

当財団は、東京に事務所を置き、昭和56年から今日まで、わが国の重要課題であるエネルギー及び炭化水素有効利用に関連する分野で、優れた研究や技術開発に携わっている研究者に助成金をもって援助を行う公益財団法人です。

この度、2020年度の研究奨励助成の募集要項を決定いたしましたので、ご案内申し上げます。

【昨年までの助成総件数：635件、助成総額：6億5,096万円】

萌芽的な研究、ユニークな研究、チャレンジングな研究に重点をおいて援助する考えです。

新進気鋭、若手研究者の積極的な応募を期待しております。

1. 募集対象：

指定大学14校（注1）と推薦大学（後日公表）の関連研究部門の研究者で部門長の推薦が必要。挑戦する若手研究者の育成に重点を置き、既に教授になった方は除く。過去に受賞或いは応募された方の再応募は受け付けられるが、テーマや内容を厳しく評価する場合がある。指定大学は1校当たりの応募件数に制限はなく、推薦大学は1校当たり2件までとする。

（注1）北海道大学、東北大学、東京大学、東京工業大学、横浜国立大学、慶應義塾大学、早稲田大学、名古屋大学、金沢大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、広島大学、九州大学 <指定大学14校>

（注2）筑波大学、茨城大学、東京理科大学、静岡大学、中部大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、大阪府立大学、大阪市立大学、奈良先端科学技術大学院大学、岡山大学、山口大学、北九州市立大学、熊本大学 <推薦大学14校>

2. 研究課題：

下記の研究課題で、現に研究開発を行っているか、または具体的に研究着手の段階にあり、3年以内を目処として明確な成果が期待できるものを対象とし、独創的・創造的又萌芽的研究を歓迎する。

基幹技術・先端（先進）技術を問わず以下の研究開発テーマ

（1）エネルギーに関連する次の分野

- ① エネルギー製造・輸送・貯蔵等に関する研究開発
- ② エネルギー利用効率化に関する研究開発
- ③ 代替エネルギーに関する研究開発
- ④ 環境保全や安全向上のための研究開発
- ⑤ 工業材料に関する研究開発

（2）炭化水素有効利用に関する次の分野（但し、医薬品関連を除く）

- ① 炭化水素誘導体及びその製造法に関わる研究開発
- ② 炭化水素をベースとする新素材の研究開発

注) エネルギーの量や効率の大小は問わず学術的成果を期待。 又、脱炭素・低炭素を支える研究や脱エネルギーに関する研究なども支援する。

3. 研究助成金（奨学寄附金）及び助成件数：

2020年度の研究助成金総額は3,000万円程度、助成件数は20～26件。
一件当りの研究助成金は、原則100万円を予定。但し、特に優れた案件には増額も有。
(昨年度までの実績では優秀な提案数件に300万円～120万円を助成。)

4. 応募書式と応募方法：

財団のホームページに推薦書（申請書）を掲載。応募者はこれをダウンロードし必要事項を記入の上、それぞれの大学が定める関連学部長又は大学院研究機関長の記名押印を受け得たものをPDFにて、財団事務局宛に送付する。

5. 募集締切り：

2020年9月14日（月）を締め切りとし、上記「推薦書（申請書）」を事務局宛てに送付する。

6. 選考方法：

選考委員により同委員会運営規則の定めに従い選考の上、選考委員会にて推薦を審議し理事会にて決定。応募件数が多い場合は、1次選考、2次選考を行う。

また、特定の大学への助成が集中することを避けるため、選考過程では1校当りの助成数を制限することもある。

[選考委員会]

委員長	田村 昌三	(東京大学 名誉教授)
副委員長	今津 秀則	(元ゼネラル石油 (株) 中央研究所 石油製品部長)
選考委員	伊藤 献一	(北海道大学 名誉教授)
同	岡崎 健	(東京工業大学 名誉教授)
同	岡崎 慎司	(横浜国立大学大学院 工学研究院 教授)
同	西出 宏之	(早稲田大学 招聘教授・名誉教授)
同	松村 秀一	(慶應義塾大学 名誉教授)
同	岡崎 慎司	(横浜国立大学大学院 工学研究院 教授)
同	河本 邦仁	(名古屋大学 名誉教授)
同	蔦巢 守	(大阪大学大学院 研究工学科 教授)
同	森 昌司	(九州大学 研究工学院 教授)
同	鈴木 實	(元ゼネラル石油 (株) 中央研究所 化学製品部長)
同	西村 純一	(JXTGエネルギー (株) 執行役員 中央技術研究所副所長)
同	真崎 仁詩	(JXTGエネルギー (株) 中央技術研究所 フェロー)

7. 選考結果の通知：

2020年12月中に選考結果を応募者及び推薦者宛て文書により通知する予定。

8. 研究助成金（奨学寄附金）贈呈式と助成金の振り込み：

2021年2月19日（予定）に東京/品川において贈呈式を開催し目録を進呈、助成金は3月中旬に受賞者の所属大学或いは研究機関等が指定した銀行口座へ送金予定。

9. 成果報告：

- 1) 助成金受領者は、受領1年後の2022年3月末までの研究成果及び助成金の使用実績明細を2022年8月末までに財団に報告する。
- 2) 上記の研究成果報告は、当財団のホームページにて公開するので、応募時に予め了承を頂く。

10. 研究助成金（奨学寄附金）の使用：

- 1) 申請対象となる研究以外に使用する場合は、事前に当財団にご報告を頂き、財団の承認を必要とする。
- 2) 助成金は、2021年度末（2022年3月末）までに使い終える必要はない。全額あるいは、一部を2022年度以降に繰り越して使用することができる。

11. 再応募：

過去に応募された方の再応募も受け付けます。

12. 推薦書類送付先・連絡先：

〒108-8005 東京都港区港南1-8-15 Wビル
公益財団法人 東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団
事務局長 小林 進

電話：03-6713-4645 FAX：03-5495-2785

メールアドレス gsk.zaidan@marble.ocn.ne.jp

(注) 推薦書類等を受領した場合、事務局から受領確認の電子メールを送付予定。
受領確認の電子メールがない場合は、上記事務局に連絡を願う。

以上